

Q2 市街地の下をトンネルが通るところは、他に事例があるのでしょうか。

- A2**
- 市街地の下をトンネルが通る例は多々あり、例えば、現在工事中の横浜環状北線は、延長約8.2kmのうち、約5.9kmがトンネル部で、地上には家屋等があります。
 - また、平成27年3月に開通した首都高速中央環状品川線は、多くの区間で山手通りや目黒川の下を通りますが、一部は家屋等の下を通っています。

Q3 シールド工法によるトンネルは長持ちするのですか。

- A3**
- 世界で最初のシールドトンネルは、1843年に完成したテムズ川をくぐる地下鉄トンネルであり、150年以上経った現在でも利用されています。
 - 日本では、1917年のうえつせん おりわたり羽越線折渡トンネルの工事で始めてシールド工法が採用されました。また、本格的な工事は1936年に着工したかんもん関門海峡鉄道トンネルであり、いずれも現在でも利用されています。
 - 現在では、調布駅付近の京王線（地下化）や平成27年3月に開通した首都高速中央環状品川線など、都市部でのトンネルにおいて、数多く採用されている工法です。